

機能変更のお知らせ

(ファームウェアバージョン 1.02 以降)


本製品は、ファームウェアのアップデート(ファームウェアバージョン 1.02 以降)により、以下の機能が追加・変更となっています。

ご注意 !!

- ファームウェアのアップデートにより、セットアップメニューに新しい項目が追加されています。使用説明書のメニューリスト (P.33) と並び順等が異なっていますのでご注意ください。

ISO オート撮影時のシャッタースピードの下限を設定できるようになりました。

ISO オート設定時、シャッタースピードが遅くなりすぎないように、シャッタースピードの下限を設定することができます。P/A モード時、手ブレや被写体ブレを軽減したい場合に有効です。

「 撮影設定」(P.31) → 「ISO オート設定」 → 「シャッタースピード下限」より設定します。


オート(より高速)	標準より 2 段速いシャッタースピードに設定される。
オート(高速)	標準より 1 段速いシャッタースピードに設定される。
オート (標準) (初期設定)	おおよそレンズの焦点距離分の 1 秒に設定される。
オート(低速)	標準より 1 段遅いシャッタースピードに設定される。
オート(より低速)	標準より 2 段遅いシャッタースピードに設定される。
1/4000 秒 : 1 秒	各シャッタースピードに設定される。

ご注意 !!

- ファームウェアのアップデートに伴い、メニュー項目名「ISO オート範囲設定」(P.76) が「ISO オート設定」に、「下限」「上限」が「ISO 下限」「ISO 上限」にそれぞれ変更になっています。
- 「ISO 上限」で設定した感度でも露出アンダーになるときは、適正露出が得られるように、下限に設定したスピードよりも遅いシャッタースピードで撮影されます。
- ISO 感度の設定については 76 ページ「ISO 感度の設定」を参照してください。

1 アクションでフォーカスフレームを移動できるようになりました。

 ボタンを押さなくても、直接  ボタンを押してフォーカスフレームを移動させることができます。


「 撮影設定」(P.31) → 「ダイレクトフォーカス移動」で、「入」に設定します。

- フォーカスフレームの詳細については 60 ページ「フォーカスフレームの設定」を参照してください。

画像情報をサブモニターに表示できるようになりました。





画像の再生時、以下の画像情報をサブモニターに表示させることができます。

シャッタースピード、絞り値、露出補正值、測光モード、撮影モード

「 再生設定」(P.31) → 「画像情報のサブモニター表示」で、「入」に設定します。


ご注意 !!

- 「入」に設定すると、メインモニターの撮影データ表示画面 (P.111) には、上記情報は表示されなくなります。
- 露出補正とオートブラケットを併用すると、合算した補正值がサブモニターの表示できる値を超えてしまう場合があります。以下のように表示された場合は、数値を読み替えてください。

サブモニターの表示	 0.7	 0.3	 0.3	 0.7
実際の値	-10.7	-10.3	+10.3	+10.7

PG-41 の FUNC ボタンに「LV 拡大表示」を割り当てできるようになりました。

パワーグリップ PG-41 側で拡大表示させたい場合、AF/AEL ボタンに「LV 拡大表示」を割り当てる必要がありましたが、FUNC ボタンにも割り当てできるようになりました。これにより、パワーグリップ側で AF/AEL の機能を損なうことなく、拡大表示もできるようになります。

「 カメラ設定」(P.31) → 「PG-41 設定」(P.146) → 「FUNC ボタンの機能」で、「LV 拡大表示」に設定します。

ご注意 !!

- パワーグリップの AF/AEL ボタンの機能は、カメラ側の AF/AEL ボタンの設定に準じます。